

PATENTS

IN THE UNITED STATES PATENT AND TRADEMARK OFFICE

In re application of

Shuji SHICHI

Serial No. (unknown)

Filed herewith

DATA SALE IMMEDIATE SETTLING
METHOD AND PREPAID CARD

#2



**CLAIM FOR FOREIGN PRIORITY UNDER 35 U.S.C. 119
AND SUBMISSION OF PRIORITY DOCUMENT**

Assistant Commissioner for Patents

Washington, D.C. 20231

Sir:

Attached hereto is a certified copy of applicant's corresponding patent application filed in Japan on June 21, 2000, under No. 2000-186433.

Applicant herewith claims the benefit of the priority filing date of the above-identified application for the above-entitled U.S. application under the provisions of 35 U.S.C. 119.

Respectfully submitted,

YOUNG & THOMPSON

By

A handwritten signature in cursive script that reads "Benoit Castel".

Benoit Castel
Attorney for Applicant
Registration No. 35, 041
Customer No. 00466
745 South 23rd Street
Arlington, VA 22202
Telephone: 703/521-2297

June 19, 2001

日 本 国 特 許 庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

平
US



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日
Date of Application: 2000年 6月21日

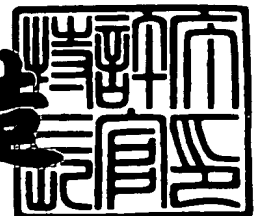
出 願 番 号
Application Number: 特願2000-186433

出 願 人
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 4月13日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及 川 耕 造



出証番号 出証特2001-3030342

【書類名】 特許願

【整理番号】 40510104

【提出日】 平成12年 6月21日

【あて先】 特許庁長官 殿

【国際特許分類】 G06F 1/00
G06F 17/60

【発明者】

【住所又は居所】 東京都港区芝五丁目 7 番 1 号 日本電気株式会社内

【氏名】 志知 修司

【特許出願人】

【識別番号】 000004237

【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

【識別番号】 100102864

【弁理士】

【氏名又は名称】 工藤 実

【選任した代理人】

【識別番号】 100099553

【弁理士】

【氏名又は名称】 大村 雅生

【手数料の表示】

【予納台帳番号】 053213

【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

【物件名】 明細書 1

【物件名】 図面 1

【物件名】 要約書 1

【包括委任状番号】 9715177

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 データ販売即決済方法、及び、プリペイドカード

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 購入者側の行為と、
販売者側の行為とを含み、
前記購入者側の行為は、
購入者の ID を入力する行為と、
n 回目に使用する第 n パスワードを端末に入力する n 回目の行為と、
(n + 1) 回目に使用する第 (n + 1) パスワードを前記端末に入力する行為
と、
コンテンツを前記端末に入力する行為とを備え、
前記販売者側の行為は、
前記購入者に前記コンテンツを配信する行為と、
前記コンテンツに対応する額をデータベースの残高から減算する行為とを備え
る
データ販売即決済方法。

【請求項 2】 前記購入者側の行為は、(n + 1) 回目に使用する第 (n + 1)
) パスワードを再度に入力する行為を更に備え、
前記販売者側の行為は、第 (n + 1) パスワードと再度に入力された第 (n +
1) パスワードとの一致の照合を行う行為を更に備える
請求項 1 のデータ販売即決済方法。

【請求項 3】 前記販売者側の行為は、前記一致の照合に基づいて前記第 (n
+ 1) パスワードを登録する行為を更に備える
請求項 2 のデータ販売即決済方法。

【請求項 4】 前記販売者側の行為は、前記残高と前記コンテンツを前記購入
者に表示する行為を更に備える
請求項 3 のデータ販売即決済方法。

【請求項 5】 前記販売者側の行為は、前記残高が前記額を越えることの確認
を実行する行為と、

前記確認に基づいて前記購入者に購入を許可する行為とを更に備え、

前記コンテンツを前記端末に入力する行為は、前記端末に表示されているコンテンツを前記購入者がクリックすることである

請求項 4 のデータ販売即決済方法。

【請求項 6】前記配信をする行為は、前記確認を実行する行為の後に実行される

請求項 5 のデータ販売即決済方法。

【請求項 7】前記販売者側の行為は、前記残高から前記額を差し引いた新しい残高を更新し更新残高を登録する行為と、

前記更新残高を前記購入者に表示する行為とを更に備える

請求項 6 のデータ販売即決済方法。

【請求項 8】前記販売者側の行為は、前記コンテンツと前記購入と前記購入者とに対応する購入日を登録する行為を更に備える

請求項 7 のデータ販売即決済方法。

【請求項 9】前記表示は、前記端末の画面上で実行される
請求項 8 のデータ販売即決済方法。

【請求項 10】前記表示は前記端末のスピーカにより実行される
請求項 9 のデータ販売即決済方法。

【請求項 11】購入者の側に配置されるポータルサイトと、
販売者の側に配置されるデータベースと、
前記ポータルサイトと前記データベースとを双方向に接続する通信ネットとを含む販売システムにより、前記購入者が指示するコンテンツを前記販売者が配信して販売し決済するデータ販売即決済方法であり、

前記購入者と前記販売者との間で契約された契約額が前記データベースに登録され、

前記データベースは、前記購入者が購入する前記コンテンツの額を減算することにより決済が実行される

データ販売即決済方法。

【請求項 12】前記契約の際に定められた前記購入者のシリアル番号と、前

記購入者が次回の購入の際に使用するパスワードとが、前記ポータルサイトから前記データベースに送信され、

前記パスワードは前記次回の購入が実行されるまで前記データベースに登録される

請求項 1 1 のデータ販売即決済方法。

【請求項 1 3】パスワードがデータベースに可變的に登録され前記データベースにバーチャルに存在するバーチャル・プリペイド・カードにシリアル番号に基づいて 1 対 1 に対応する

プリペイドカード。

【請求項 1 4】前記シリアル番号と初回に用いるパスワードとが視覚的に見えるように印刷されている

請求項 1 3 のプリペイドカード。

【請求項 1 5】カバーを含み、

前記印刷されているシリアル番号と前記パスワードとは、初回使用の前には前記カバーにより隠されている

請求項 1 4 のプリペイドカード。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

本発明は、データ販売即決済方法、及び、プリペイドカードに関し、特に、インターネット上の音楽、映像の配信とその代金の決済を円滑に行うことができるデータ販売即決済方法、及び、プリペイドカードに関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

インターネット上で音楽、映像のようなデータの配信を受けたり、特別なサービスサイト又はオペレータにアクセスする際に必要である代金を回収する技術として、クレジットカードによる決済、事前・事後に支払いをする契約による決済が知られている。このような決済は、リアルタイム性に欠ける。このような決済によれば、その決済のために必要である認証に用いられるデータが個人に直結し

ている。

【 0 0 0 3 】

決済には、リアルタイム性が求められる。更に、個人に直結する認証データを用いなくて決済されることが好ましい。

【 0 0 0 4 】

【発明が解決しようとする課題】

本発明の課題は、リアルタイム性があるデータ販売即決済方法、及び、プリペイドカードを提供することにある。

本発明の課題は、リアルタイム性がありセキュリティが高いデータ販売即決済方法、及び、プリペイドカードを提供することにある。

本発明の他の課題は、リアルタイム性があり、且つ、個人に直結する認証データが用いられず、セキュリティが高いデータ販売即決済方法、及び、プリペイドカードを提供することにある。

【 0 0 0 5 】

【課題を解決するための手段】

本発明によるデータ販売即決済方法は、購入者側の行為と、販売者側の行為とを含み、購入者側の行為は、購入者のIDを入力する行為と、 n 回目に使用する第 n パスワードを端末に入力する n 回目の行為と、 $(n+1)$ 回目に使用する第 $(n+1)$ パスワードを端末に入力する行為と、コンテンツを端末に入力する行為とを備え、販売者側の行為は、購入者にコンテンツを配信する行為と、コンテンツに対応する額をデータベースの残高から減算する行為とを備える。販売者に固有であり不変更であるシリアル番号と変更が可能であるパスワードとの照合がその都度に行われ、購入の度にパスワードが変更され得るので、セキュリティが飛躍的に高くなり、変更が可能である状態でのパスワードの不変更は、第三者にとっては実質的には変更と等価であるから、その都度にパスワードを変更する必要はない。

【 0 0 0 6 】

購入者側の行為は、 $(n+1)$ 回目に使用する第 $(n+1)$ パスワードを再度に入力する行為を更に備えて、販売者側の行為は第 $(n+1)$ パスワードと再度

に入力された第 (n + 1) パスワードとの一致の照合を行って、変更後のパスワードが購入者側と販売者側とで共通的に確認される。販売者側の行為は、その一致の照合に基づいて第 (n + 1) パスワードを登録する。

【 0 0 0 7 】

販売者側の行為は、残高とコンテンツを購入者に表示する行為を更に備える。販売者側は、残高が額（販売額）を越えるかどうかの確認を実行して、決済を安全化する。その確認に基づいて、購入者に購入を許可する。コンテンツを端末に入力する行為は、端末に表示されているコンテンツを購入者がクリックすることであり、購入動作が簡素化される。配信をする行為は、確認を実行する行為の後に実行され、決済の安全化が確立される。

【 0 0 0 8 】

販売者側の行為は、残高からその額を差し引いた新しい残高を更新し更新残高を登録する。その更新残高は、購入者に表示される。販売者側の行為は、そのコンテンツとその購入と購入者とに対応する購入日を登録する。この登録は、コンテンツの流通に関する統計の基礎資料になる。表示は、購入者側の端末の画面上で実行される。その表示は、端末のスピーカによっても実行され得る。

【 0 0 0 9 】

本発明によるデータ販売即決済方法は、購入者の側に配置されるポータルサイトと、販売者の側に配置されるデータベースと、ポータルサイトとデータベースとを双方向に接続する通信ネットとを含む販売システムにより、購入者が指示するコンテンツを販売者が配信して販売し決済するデータ販売即決済方法であり、購入者と販売者との間で契約された契約額がデータベースに登録され、データベースは、購入者が購入するコンテンツの額を減算することにより決済が実行される。プリペイドカードである現金等価のカードがデータベース側にバーチャルに形成され、一定限度額の範囲で、キャッシュレス化が図られる。

【 0 0 1 0 】

本発明によるプリペイドカードは、パスワードがデータベースに可変的に登録されそのデータベースにバーチャルに存在するバーチャル・プリペイド・カードにシリアル番号に基づいて 1 対 1 に対応している。そのシリアル番号と初回に用

いるパスワードとは、ユーザーにより視覚的に見えるように印刷されている。カバーが設けられ、印刷されているシリアル番号と初回用のパスワードとは、初回使用の前にはカバーにより隠されていて、ユーザーが選択できない初回パスワードのセキュリティが高められている。このようなプリペイドカードは、不特定多数の人に安全に配布することができる。

【 0 0 1 1 】

契約の際に定められた購入者のシリアル番号と、購入者が次回の購入の際に使用するパスワードとが、ポータルサイトからデータベースに送信され、パスワードは次回の購入が実行されるまでデータベースに登録され、キャッシュレス化システムのセキュリティが高くなる。

【 0 0 1 2 】

【発明の実施の形態】

図に対応して、本発明によるデータ販売即決済方法の実施の形態は、データベースに設定されているバーチャル・プリペイドカードから配信に要する代金を減算する行為を含む行為連鎖から構成されている。プリペイドカードとデータベースを用いたweb上の音楽・映像サービス等情報コンテンツ（以下webコンテンツ）の電子商取引の決済方法が、以下に述べられる。プリペイドカードは、データベースに書き込まれているバーチャルなカードであるが、そのプリペイドカードに情報対応する現実カードが作成される。現実プリペイドカードには、シリアル番号、初回パスワード番号、有効期限が視覚的に印刷されている。プリペイドカード購入者が初回パスワード番号をスクラッチしてから見るように、その現実プリペイドカードには、カバーがかけられている。

【 0 0 1 3 】

データベースは、図1に示されるように、その特定のプリペイドカードに1対1に対応する発行年月日、シリアル番号、有効期限、初回パスワード番号、ユーザ設定パスワード番号、カード額面、残高、取引商品番号、取引日を登録する。

【 0 0 1 4 】

ポータルサイトが、ユーザとデータベースとの間に位置している。そのポータルサイトは、カードシリアル番号、パスワード番号の入力をユーザから受付けて

、データベースにアクセスすることができるかどうか、アクセスを許可するか許可しないかについて、問合わせを行なう。

【 0 0 1 5 】

コンテンツサイトは、音楽、映像のような情報（データ）コンテンツが商品として登録されている。そのコンテンツサイトは、ユーザとの間で行われる取引に関わるデータをデータベースとの間でやりとりする。

【 0 0 1 6 】

図 2 と図 3 は、プリペイドカードを用いた w e b コンテンツ取引とその決済の一連の行為の連鎖を形成する行為手順を示している。ユーザの端末は、インターネット上のポータルサイトに既に接続している。

行為 1 :

ポータルサイトは、カードのシリアル番号の入力を待つ入力待ちの画面を表示する。

行為 2 :

ユーザは、端末からシリアル番号を入力する。

行為 3 :

シリアル番号の入力受けたポータルサイトは、データベースに対してカードの使用期限を確認する。

【 0 0 1 7 】

行為 4 :

カード使用期限が来ていない場合、データベースはポータルサイトにアクセスを許可する。カード使用期限が来ている場合、データベースはポータルサイトにアクセスを許可しない。アクセスを許可しない場合、そのポータルサイトはそのカードを使用することができない旨をそのポータルサイトに表示する。

行為 5 :

ポータルサイトは、パスワード番号の入力を待つ入力待ちの表示を行う。

行為 6 :

ユーザは、パスワード番号をポータルサイトに入力する。

行為 7 :

パスワード番号の入力を受けるポータルサイトは、そのパスワード番号とシリアル番号とが 1 対 1 に対応しているかどうかの確認をデータベースに依頼する。

【 0 0 1 8 】

行為 8 :

パスワード番号とシリアル番号とが 1 対 1 に対応している場合、データベースはポータルサイトに更にアクセスを許可する。

行為 9 :

その許可に基づいて、ポータルサイトはユーザーに対し次回使用するパスワード番号の入力を要求する。

行為 1 0 :

ユーザが次回にアクセスする際に使用する次回パスワード番号を入力する。

行為 1 1 :

ポータルサイトからユーザに対し、再度、次回パスワード番号の入力を要求する。

【 0 0 1 9 】

行為 1 2 :

再度、次回パスワード番号を入力する。

行為 1 3 :

ポータルサイトは、2 度入力された次回使用の 2 つの次回パスワード番号が同じであることを照合する。

行為 1 4 :

2 つの次回パスワード番号が照合していれば、ポータルサイトは、データベースに対し次回パスワード番号の登録を行なう。

行為 1 5 :

データベースは、今回パスワード番号が次回パスワード番号により書き換えられたことの完了をポータルサイトに通知する。

【 0 0 2 0 】

行為 1 6 :

その通知を受けたポータルサイトは、コンテンツサイトにコンテンツの表示を

要求する。

行為 1 7 :

コンテンツサイトは、データベースに対してカードの残高表示を要求する。

行為 1 8 :

データベースから残高が提示され、その残高はポータルサイトに表示される。
る。

行為 1 9 :

コンテンツサイトは、その残高とコンテンツとを合わせてユーザに対し表示する。

【 0 0 2 1 】

行為 2 0、行為 2 1 :

ユーザは、購入ボタンでコンテンツをクリックすることにより商品を選択し、
コンテンツサイトは、選択されたコンテンツのデータを受け取る。

行為 2 2 :

コンテンツサイトは、合計金額を計算しデータベースに合計金額を伝達する。

行為 2 3 :

データベースは、購入合計金額を現在の残高から差し引き、残高がゼロ以下にならないかどうかを照会する。

行為 2 4 :

残高計算の結果が正であれば、データベースはコンテンツサイトに対して取引の許可を出す。データベースは、もし残高が負であれば、残高不足であることをユーザに対して表示するようコンテンツサイトに指示を出す。

【 0 0 2 2 】

行為 2 5 :

コンテンツサイトは、ユーザに対して商品・コンテンツを送信して配信する。

行為 2 6 :

コンテンツサイトは、ユーザから商品を受領した旨の情報を受け取る。

行為 2 7 :

コンテンツサイトは、今行われた取引の商品名、日時をデータベースに送信す

る。

行為 2 8 :

データベースは、この取引データを登録する。

行為 2 9 :

データベースは、カード残高の減算処理を行なう。

行為 3 0 :

取引の結果として、コンテンツサイトに残高情報を提示する。

行為 3 1 :

コンテンツサイトは、残高とコンテンツとをユーザに対し表示する。

【 0 0 2 3 】

行為 3 2 :

ユーザは、取引終了を伝達する。

行為 3 3 :

その伝達を受けて、コンテンツサイトは、データベースに対するリンクを解除する。

行為 3 4 :

データベースは、ポータルサイトに対するリンクを解除する。

行為 3 5 :

ポータルサイトの画面は、再び、カードのシリアル番号の入力待ちになる。

【 0 0 2 4 】

このように、パスワード番号は利用する度に変更され、セキュリティーをより強く保つことができる。カードの使用に当たっては、クレジットカード番号、銀行口座番号、住所、氏名等個人に関わる情報を認証する必要があるが、ギフト、企業のプロモーションに利用できる。カードのパスワード番号、シリアル番号のデータベースに、取引されたコンテンツの種類、年月日、量を記録することにより、市場調査に活用する情報収集が可能である。

【 0 0 2 5 】

図 4 と図 5 は、本発明によるデータ販売即決済方法の実施の他の形態を示している。実施のこの形態は、インターネット上の取引決済だけでなく、電話からの

音声通話でオペレータを介したサービスの授受の決済にも応用することができる。発信者がサービス接続センターに着信完了した状態から、次の行為が述べられる。

【 0 0 2 6 】

行為 1 :

サービス接続センターから発信者に対してカードのシリアル番号入力を要求するアナウンスが送出される。

行為 2 :

発信者が電話機のプッシュボタンを押してシリアル番号を入力する。

行為 3 :

その入力を受けてサービス接続センターは、データベースに対しカードの使用期限を確認する。

行為 4 :

データベースがカードの使用を許可する。

【 0 0 2 7 】

行為 5 :

これを受けて、サービス接続センターは発信者に対しパスワード番号の入力を要求するアナウンスを送出する。

行為 6 :

発信者がパスワード番号を入力する。

行為 7 :

これを受けてサービス接続センターは、データベースに対して認証を取る。初回のアクセスであればデータベースでシリアル番号と組み合わされているパスワード番号で照合を取り、その後、ユーザーに対してパスワード番号の書き換えを促す。2回目以降のアクセスであれば、カードのシリアル番号とユーザ設定のパスワード番号で照合を取る。

【 0 0 2 8 】

行為 8 :

データベースからアクセス許可が出る。

行為 9 :

これを受けて、サービス接続センターは発信者に対し次回使用するパスワード番号の入力を要求する。

行為 1 0 :

発信者が次回にアクセスする際に使用するパスワード番号を入力する。

行為 1 1 :

サービス接続センターから発信者に対し、再度パスワード番号の入力を要求する。

【 0 0 2 9 】

行為 1 2 :

再度パスワード番号を入力する。

行為 1 3 :

2 度入力された次回使用のパスワード番号が同じものであることをサービス接続センターにて照合する。

行為 1 4 :

照合がとれたら、データベースに対し、パスワード番号登録を行なう。

行為 1 5 :

データベースよりサービス接続センターへ、パスワード書き換え完了が知らせられる。

【 0 0 3 0 】

行為 1 6 :

サービス接続センターはこのカードの残高確認をデータベースに対して行なう。

行為 1 7 :

データベースからサービス接続センターに対して残高データが提示される。

行為 1 8 :

これを受けてサービス接続センターは発信者に対し、カードの残高とサービスコンテンツの紹介、選択を要求するアナウンスを送出する。

行為 1 9 :

発信者がサービスを選択する。

行為 2 0 :

サービス接続センターは発信者によって選択されたサービスの料金が現在の残高の範囲内かどうか、データベースに問い合わせをする。

行為 2 1 :

データベースが残高照会をする。

【 0 0 3 1 】

行為 2 2 :

データベースが取引情報及び残高をオペレータに表示する。

行為 2 3 :

これを見てオペレータはサービス接続センターに対し接続許可を出す。

行為 2 4 :

サービス接続センターが発信者・オペレータ間のパスを張り、通話（サービス）が開始される。

行為 2 5 :

この間、サービス接続センターは時間監視をしている。

行為 2 6 :

ある一定時間を経過すると、時間によるカード度数減算をデータベースに指示する。

【 0 0 3 2 】

行為 2 7 :

これを受けてデータベースはカード残高の減算処理を行ない、結果残高をサービス接続センターに提示する。

行為 2 8 :

オペレータと通話している発信者に対して、サービス接続センターから減算後の残高のアナウンスを送出する。もしデータベースから提示された残高がゼロであれば、警告音を発して通話路を切断する。

行為 2 9 :

発信者が通話路を切断し、サービスが終了する。

行為 3 0 :

オペレータに通話路切断の信号を送り、サービスが完了したことを伝える。

行為 3 1 :

サービス完了を確認して、オペレータがデータベースとのリンクを切断する。

行為 3 2 :

データベースとサービス接続センターとのリンクが解除される。

【 0 0 3 3 】

【発明の効果】

本発明によるデータ販売即決済方法、及び、プリペイドカードは、情報コンテンツ購入と同時にプリペイドカードの残高から減算決済していくので、ユーザ側からみると商品の受領と代金の支払いが同時にその場でできることになる。コンテンツサプライヤ側は、予めカードを売却しているので、代金未回収の防止が可能であり、キャッシュフローを改善することができる。

【 0 0 3 4 】

現実カードのプリペイドカードは、これ自体に、webへのダイアルアップアクセス番号、初回使用時のパスワード番号、シリアル番号が記されているだけであるので安価に提供され、且つ、安全に提供され得る。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

図 1 は、本発明によるデータ販売即決済方法の実施の形態のデータベースに設定されているプリペイドカードを示すテーブルである。

【図 2】

図 2 は、本発明によるデータ販売即決済方法の実施の形態の行為手順を示すタイムチャートである。

【図 3】

図 3 は、図 2 の行為手順の続き示すタイムチャートである。

【図 4】

図 4 は、本発明によるデータ販売即決済方法の他の実施の形態の行為手順を示すタイムチャートである。

【図 5】

図 5 は、図 4 の行為手順の続きを示すタイムチャートである。

特 2 0 0 0 - 1 8 6 4 3 3

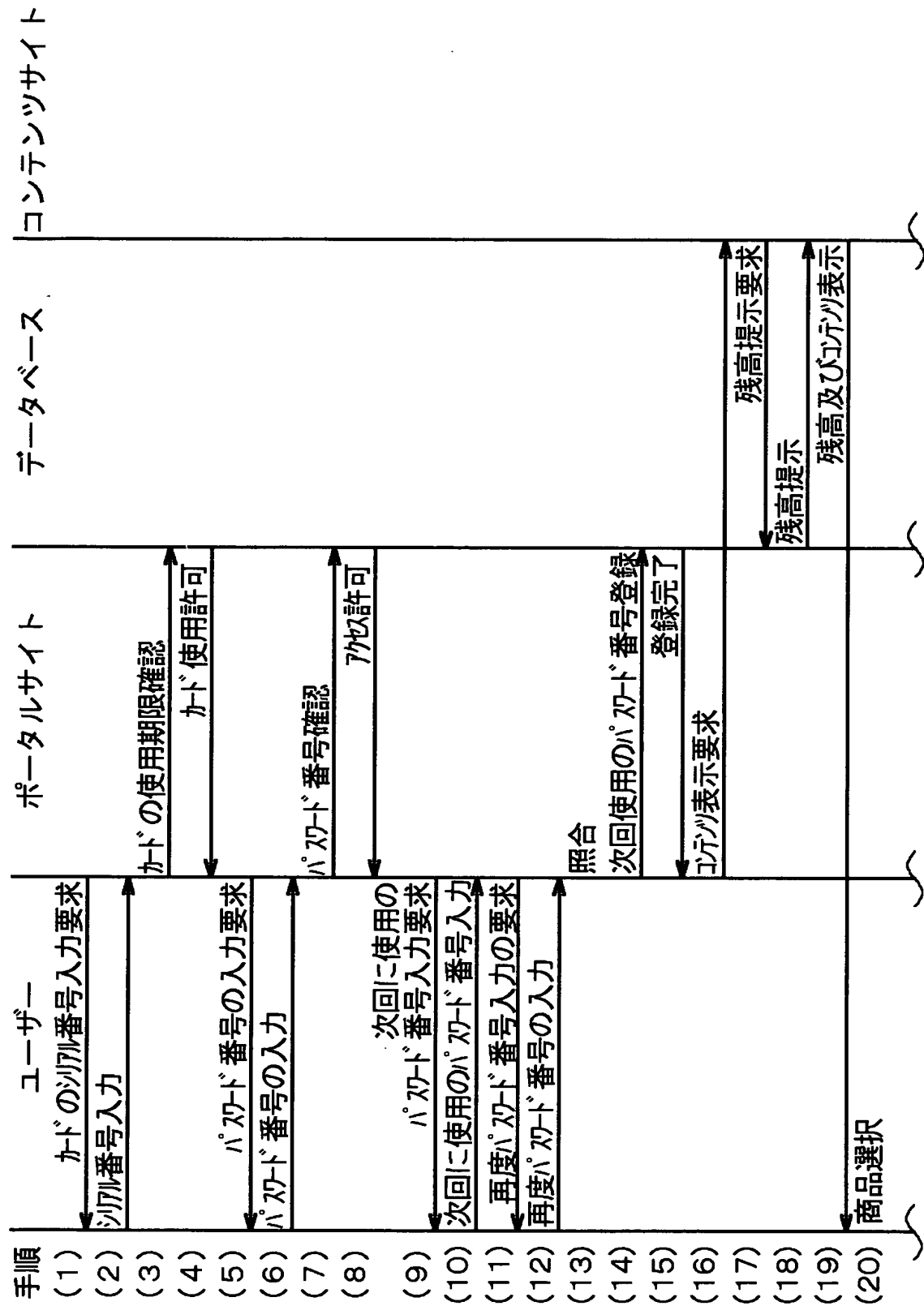
【書類名】 図面

【図 1】

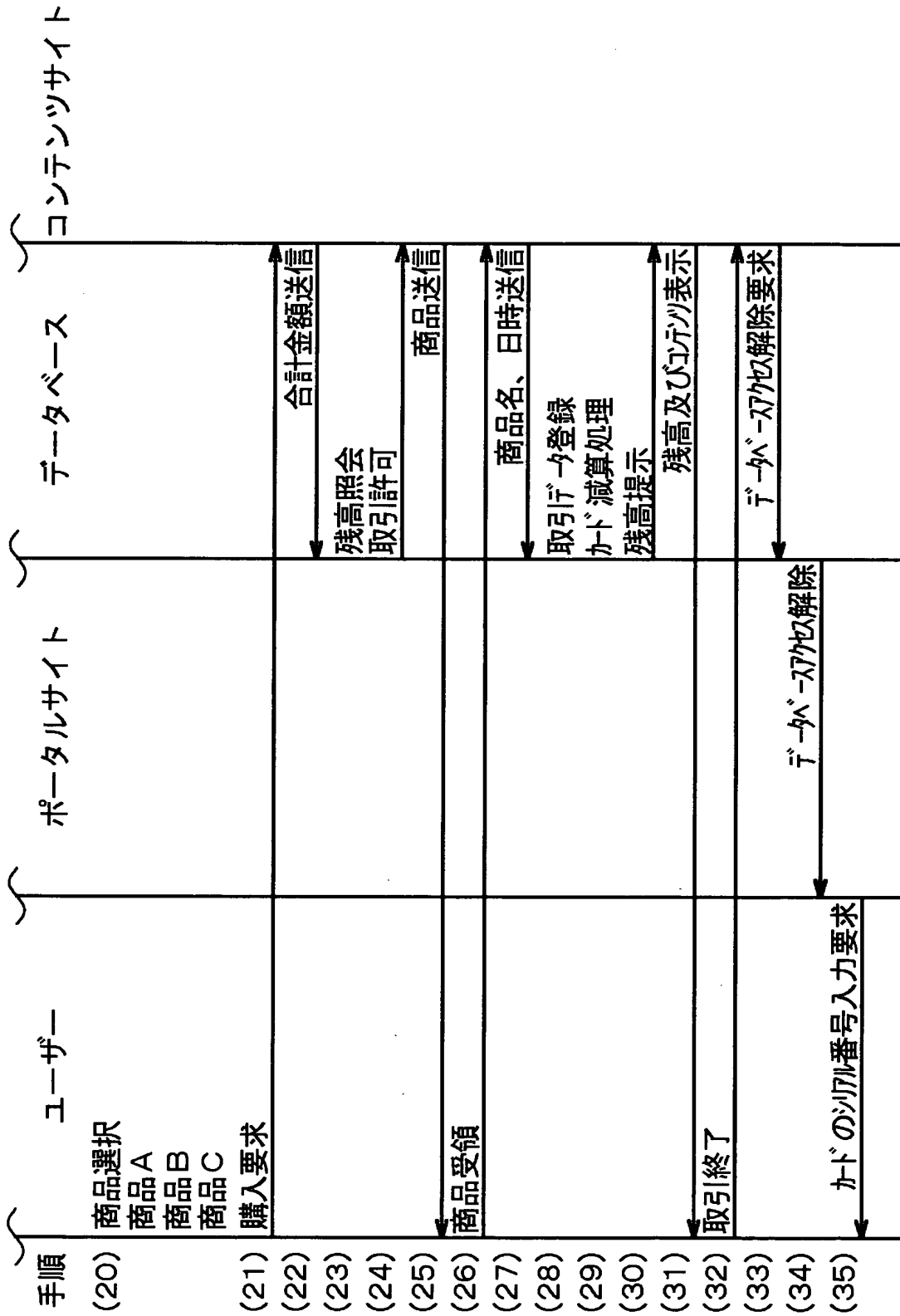
カード番号	発行年月日	有効期限	初回 パスワード番号	ユーザ設定 パスワード番号	カード額面	残高	商品番号	取引日	商品番号	取引日
100001	2000/1/15	2000/7/15	36736492		3000	3000				
100002	2000/1/15	2000/7/15	7687647	21055677	3000	2500				
100003	2000/1/15	2000/7/15	21516978	8939711	3000	100				
100004	2000/1/15	2000/7/15	39377719	18030987	3000	500				
100005	2000/1/15	2000/7/15	49712994	3460506	3000	500				
100006	2000/1/15	2000/7/15	52443390		3000	3000				
100007	2000/1/15	2000/7/15	67661109	6759717	3000	2600				
100008	2000/1/15	2000/7/15	20880591	8318252	3000	1800				
100009	2000/1/15	2000/12/15	89420705	14684591	7000	6000				
100010	2000/1/15	2000/12/15	21878116	38501486	7000	500				
100011	2000/1/15	2000/12/15	86105547	44231529	7000	4000				
100012	2000/1/15	2000/12/15	63708989	18977755	7000	5600				
100013	2000/1/15	2000/12/15	7113825	1664495	7000	900				
100014	2000/1/15	2000/12/15	86011870	68139623	7000	700				
100015	2000/1/15	2000/12/15	43703306		7000	7000				
100016	2000/1/31	2000/7/15	31301767	20367344	3000	500				
100017	2000/1/31	2000/7/15	35787788	48815876	3000	300				
100018	2000/1/31	2000/7/15	92995466	41849219	3000	400				
100019	2000/1/31	2000/7/15	29607555	22315713	3000	1500				
100020	2000/1/31	2000/7/15	96930035	83748066	3000	1200				
100021	2000/1/31	2000/12/15	71010898	10888700	7000	5900				
100022	2000/1/31	2000/12/15	19164607	59055753	7000	1800				

特 2 0 0 0 - 1 8 6 4 3 3

【図 2】

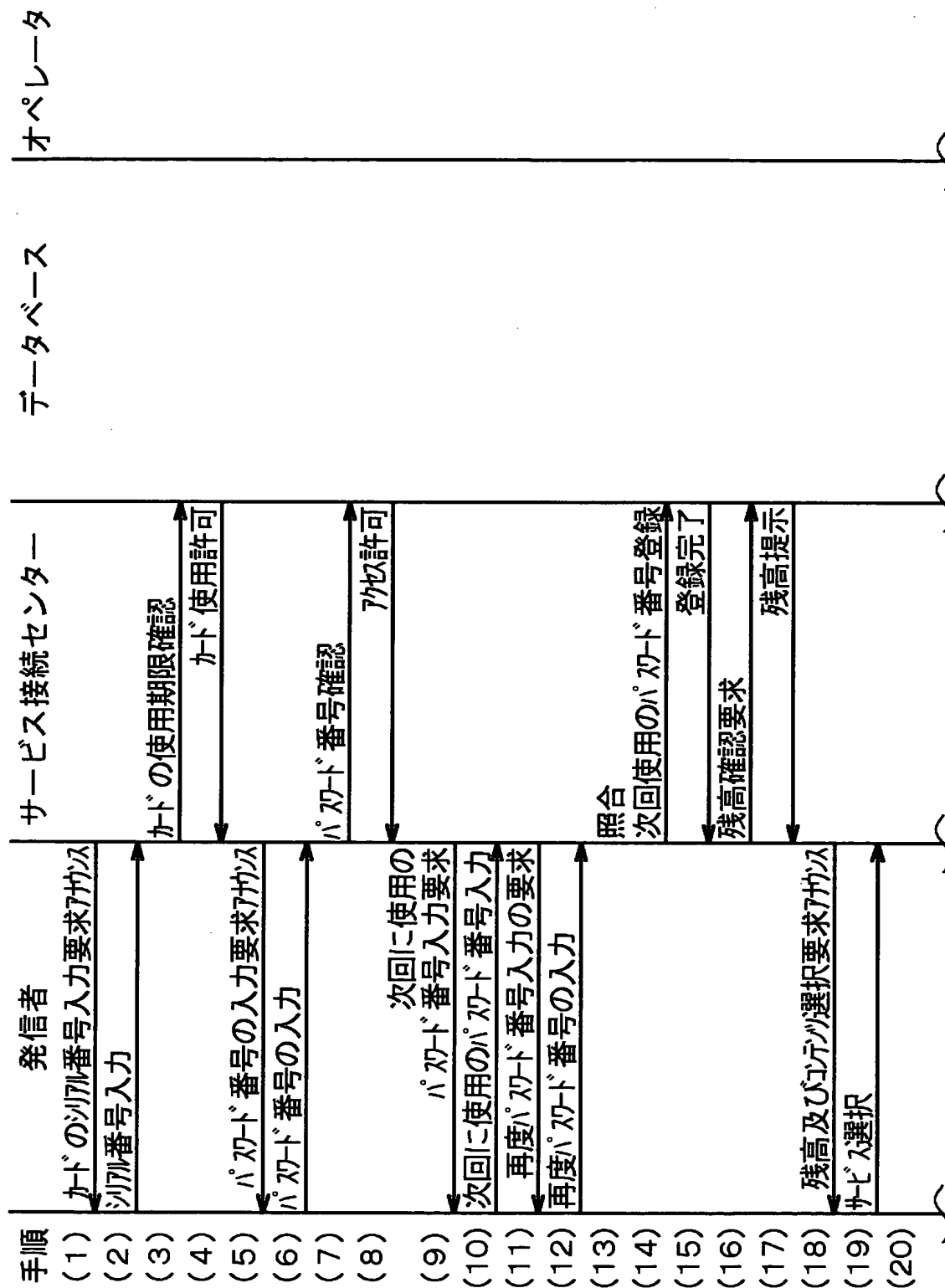


【図 3】

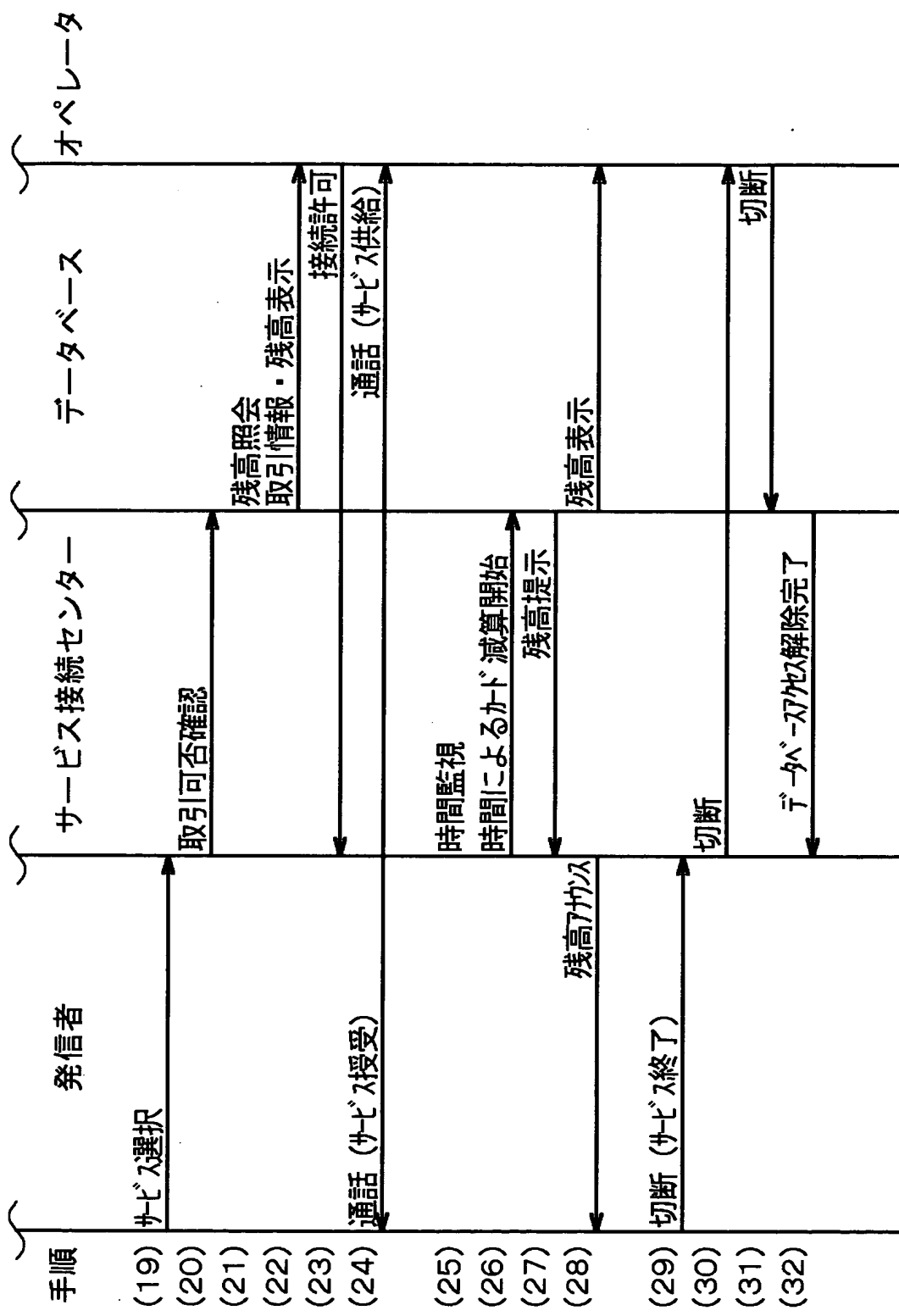


特 2 0 0 0 - 1 8 6 4 3 3

【図 4】



【図 5】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 リアルタイム性があり、セキュリティが高く、且つ、個人に直結する認証データを必要としない決済を可能にする。

【解決手段】 購入者側の行為は、購入者のIDを入力する行為と、n回目に使用する第nパスワードを端末に入力するn回目の行為と、(n+1)回目に使用する第(n+1)パスワードを端末に入力する行為と、コンテンツを端末に入力する行為とを備える。販売者側の行為は、購入者にコンテンツを配信する行為と、コンテンツに対応する額をデータベースの残高から減算する行為とを備える。販売者に固有であり不変更であるシリアル番号と変更が可能であるパスワードとの照合がその都度に行われ、購入の度にパスワードが変更され得るので、セキュリティが飛躍的に高くなり、変更が可能である状態でのパスワードの不変更は、第3者にとっては実質的には変更と等価であるから、その都度にパスワードを変更する必要はない。不特定多数の人にプリペイドカードを安全に配布することができる。

【選択図】 なし

認 定 ・ 付 加 情 報

特許出願の番号	特願 2 0 0 0 - 1 8 6 4 3 3
受付番号	5 0 0 0 0 7 7 6 5 1 2
書類名	特許願
担当官	第七担当上席 0 0 9 6
作成日	平成 1 2 年 6 月 2 2 日

< 認定情報・付加情報 >

【特許出願人】

【識別番号】	000004237
【住所又は居所】	東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
【氏名又は名称】	日本電気株式会社

【代理人】

申請人

【識別番号】	100102864
【住所又は居所】	東京都品川区南大井 6 丁目 2 4 番 1 0 号 カドヤ 第 1 0 ビル 6 階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	工藤 実

【選任した代理人】

【識別番号】	100099553
【住所又は居所】	東京都品川区南大井 6 丁目 2 4 番 1 0 号 カドヤ 第 1 0 ビル 6 階 工藤国際特許事務所
【氏名又は名称】	大村 雅生

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [0 0 0 0 0 4 2 3 7]

1. 変更年月日	1 9 9 0 年 8 月 2 9 日
[変更理由]	新規登録
住 所	東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
氏 名	日本電気株式会社